

令和8年度第1回富士見市いじめのない学校づくり委員会
会議録要旨

【日時】 令和8年6月22日（月） 14：30～16：30

【開催場所】 富士見市教育委員会 会議室

【出欠状況】

塚田	森田	山岸	長瀬	早川
○	○	○	○	○

【事務局】

課長 教育相談室長 指導主事1名

【次第】

- 1 開 会
- 2 教育委員会あいさつ及び委嘱状交付
- 3 委員長あいさつ
- 4 報告事項
 - （1）令和7年度 富士見市立学校におけるいじめ等の状況について
 - （2）いじめのない学校づくり子ども会議について
- 5 議 題
 - （1）いじめの重大事態への対応について
 - （2）ネットいじめの未然防止について
- 6 事務連絡
 - ・今年度の会議日程について
- 7 閉 会（副委員長）

【報告】

(1) 令和7年度 富士見市立学校におけるいじめ等の状況について

【事務局】 「いじめの認知件数」については、小学校において減少傾向、中学校において、増加傾向である。

「いじめの認知件数学年別内訳」については、小学校では、中学年で多く、中学校では、中学1年生の件数が多い結果となっている。

「いじめの態様」では、多くあったのは、「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句」であった。今回から、追加された「性的な行為」についてもネットトラブルとともに注視していく必要があると考えている。

今後も積極的な認知により、いじめを早期発見し、成長過程に合わせた指導を行うことで、解消まで丁寧に見届けを行うよう学校にはたらきかけていく。

不登校については、小・中学校ともに増加している。特徴として、小学校高学年から中学校で多くなる傾向がみられる。小1プロブレムや中1ギャップの解消、そして、心の不安定な児童生徒等への段階に応じた適切なフォローが重要であると考えている。引き続き、教育相談室や子ども未来応援センター、ソーシャルワーカー等の関係機関と連携を深め、家庭の状況を把握し、適切なアドバイスや対応を行う。

(2) いじめのない学校づくり子ども会議について

【事務局】 令和8年度もいじめのない学校づくり子ども会議を実施する。

「ネットいじめを防ぐためにできることを考えよう」をテーマに、児童生徒が主体的な取組ができるよう考えていく。

【議事】

(1) いじめの重大事態への対応について

【事務局】 3ヶ月後にいじめ行為が継続していないことを確認し、解消とする。

【委員】 具体的には、どのように見とるのか。

【事務局】 アンケートや本人、当事者への聞き取りにより判断する。

【委員】 PC、携帯、SNSによるいじめなどが、複合的にかかわる事案もあるのではないかと。

【事務局】 アンケートでは、複数回答により、複合的にかかわるものがあることを把握している。

- 【委員】 保護者にどういう事案が重大事態にあたるのか説明し、聞き取ることが大切である。法的な重大事態の要件については、申し立てを受けて一律に重大事態と判断するのではなく、いじめの背景や状況について調査することが重要ではないか。
- 【委員】 被害保護者から、被害申告を提出してもらい、申告に沿って、被害の内容を聞き取ることが必要である。
- 【委員】 重大事態対応を進める上で、子どもへの配慮が必要である。

(2) ネットいじめの未然防止について

- 【事務局】 パソコンや携帯電話等での誹謗中傷の発生件数が増加傾向であり、情報モラルの向上やネットいじめを防ぐ取組を推進していく必要がある。
- 【委員】 スマホの保持率はどれくらいか。
- 【委員】 小学校6年生は、ほとんどが所有している。4年生でも、半数くらい所有しているのではないか。
- 【委員】 親の見届けと、教育が大切である。しかし、親の手が届いていないのが実態ではないか。
- 【委員】 子どもが、やってよいことと悪いことなどを理解することが大切である。
- 【委員】 人権擁護委員の活動を広げていく必要を感じる。